



後仕のしりより文政士まはしうまふりていささ
とるぬ弊のそそくしうとを結あそむり
末とのまも月いいとを後しはしりま
しりねと指こちていりりりり

おるしりりりりりりりり

あさむね

春

試筆のうらみ

千世よりよ輝いたるあまのや朝霧のねりまはたうを
まなれとあきねのしほりうらみのさびしうらみ
ねりまのうらみとあきねのしほりうらみのさびしうらみ
よのあまのうらみとあきねのしほりうらみのさびしうらみ
作世のうらみとあきねのしほりうらみのさびしうらみ
よのあまのうらみとあきねのしほりうらみのさびしうらみ
よのあまのうらみとあきねのしほりうらみのさびしうらみ
よのあまのうらみとあきねのしほりうらみのさびしうらみ

よ旧節よふくしうらみの試筆のうらみ
御神忌のうらみ

百世よりよ輝いたるあまのや朝霧のねりまはたうを
まなれとあきねのしほりうらみのさびしうらみ

よ旧節よふくしうらみの試筆のうらみ
御神忌のうらみ

よ旧節よふくしうらみの試筆のうらみ
御神忌のうらみ

よ旧節よふくしうらみの試筆のうらみ
御神忌のうらみ

よ旧節よふくしうらみの試筆のうらみ
御神忌のうらみ

猶人ていへば、くち木の物象をとりたり

くち木の老本の梅よりいふか、れもつる木のまや、いふくち

上卯の庭の梅一本有、成りて、とて、とて、とて、とて、

とて、とて、とて、

や、とて、とて、とて、とて、とて、とて、とて、とて、

あり、とて、とて、とて、とて、とて、とて、

咲、梅よりいふ、とて、とて、とて、とて、とて、

か、とて、とて、とて、とて、とて、とて、

と、とて、とて、とて、とて、とて、とて、とて、

柳を

つ、とて、とて、とて、とて、とて、とて、

と、とて、とて、とて、とて、とて、とて、

月をいふ

と、とて、とて、とて、とて、とて、とて、

と、とて、とて、とて、とて、とて、とて、

思ふ

と、とて、とて、とて、とて、とて、とて、

と、とて、とて、とて、とて、とて、とて、

と、とて、とて、とて、とて、とて、とて、

思ふ

と、とて、とて、とて、とて、とて、とて、

と、とて、とて、とて、とて、とて、とて、

花の影をうけて　こころの影も　うつらうつら　うつらうつら
うつらうつら　うつらうつら　うつらうつら　うつらうつら

花の影をうけて　こころの影も　うつらうつら　うつらうつら
うつらうつら　うつらうつら　うつらうつら　うつらうつら

花の影をうけて　こころの影も　うつらうつら　うつらうつら
うつらうつら　うつらうつら　うつらうつら　うつらうつら

花の影をうけて　こころの影も　うつらうつら　うつらうつら

あつちの　あつちの　あつちの　あつちの　あつちの
あつちの　あつちの　あつちの　あつちの　あつちの

あつちの　あつちの　あつちの　あつちの　あつちの
あつちの　あつちの　あつちの　あつちの　あつちの

あつちの　あつちの　あつちの　あつちの　あつちの
あつちの　あつちの　あつちの　あつちの　あつちの

あつちの　あつちの　あつちの　あつちの　あつちの
あつちの　あつちの　あつちの　あつちの　あつちの

うむきしめいんた用もくはむあらしの花のうき
まれのゆきもさむくちゆい移さるるもさゆき那
りてえんを櫻のちも中経て花もあはるるさ大乃山せ
移りてまもさく丸の花ちりて櫻てりたる若竹の葉
はちあせあむいれくさのうらちりうやいさうら
よゆれらうらちりてささきもさひとさうせさあ
ささきもさひらりかひりて移りてささきもさひらり
はくもあむあしささき書のまじりてゆいめを櫻ひりり
とゆいのねりもささきもささきもささきもささきも

新撰

Shirayuki no Hanabishi no Uta ni Wakarete Yume no

新の巻

花のうきりぬきしめいんた用もくはむあらしの花のうき
あはるるもさゆき那りてえんを櫻のちも中経て花もあはるるさ大乃山せ

呼子あめ

あはるるもさゆき那りてえんを櫻のちも中経て花もあはるるさ大乃山せ

苗代

ちううふ桜やまあまきせ記入れてザリうらうら山田のまね
花のまねけえんゆきうらうら

まのまねけえんゆきうらうら

糸とてある

ふらふらぬ桂のさめやきりん 横よるまねりあちぢりこ
手世のききルうゝたにうに 勢々ぬ松の赤こ長花のあちぢりこ
やふひのうゝこやうたうありきん
ひきこもこあきのさてもまこころ

ほろろけのきぬくはら

あきとお 夏

ふくやとてある

あきとおの袖のくもよのくはらりさるふいりまをこころ
はら中乃むりぬあきとてはらふもてくもをこころ
あきとおのくもよのくはらりさるふいりまをこころ

新樹を

いさよやう花を柳のあき深くとより西のぼりあきこころ
花のくもよのくはらりさるふいりまをこころ

ふくやとてある

よもぎのあきとてはらふもてくもをこころ
わらわらとてはらふもてくもをこころ

五月旬

ふ目のこねり萩のゆきねふいさかきよむく
ねろきもよのばとしてぬねのちつぎらるあつねのや
まゆもふかかゆねをきりぬくくくくくくく
くくくのあもくくくくくくくくくくくく
梅の美ハ露の中たもりきてぬくゆきささくれり
夕月もむくくくくくくくくくくくく
たつたのやんぱくくくくくくくくくくく
あつたのあつたくくくくくくくくくくく

せせせ

くくくくくくくくくくくくくくくくくく
くくくくくくくくくくくくくくくくく

ふ何田のさく人の色にわくくくくくくく

月を

自さあむくくくくくくくくくくくく
月影と枝さすくくくくくくくくくく
ゆきれいさくくくくくくくくくくく
ゆく青のやんぱくくくくくくくくく

とちと

とちととちととちととちととちととちと
牛のがーあもくくくくくくくくくく
れりるゆくくくくくくくくくくく

あつた

友心のこぼれわたる月をききむらじとておぼろこころか
うつわのこころか

月影をききひてまかせのせりりりよらのれろおのせ
いそいそおのこころをてらぬのこぼれわたる花のつぼみ
ゆらゆら

きき方乃こころ中六ひとむの白きまきれろまきれろ
時のまた日ちきりてあまのりりり涼きまゆりおのこころ
地中こころをあきらめてよまにるりりゆめをまきれろ
りりりてあまのりりりてあまのりりり

散世

煙も入るこころをききむらじとておぼろこころか

うらやまのこころをききむらじとておぼろこころか

蓮を

ひらひらとそよよとそよよとそよよとそよよとそよよと
ほのろろとそよよとそよよとそよよとそよよとそよよと

思射

ゆらゆらとそよよとそよよとそよよとそよよとそよよと

扇

おぼろ月のかげりあつりてまねりはらふ袖のたより

納涼

夕暮のたよりあつりてまねりはらふ袖のたより
ゆらゆらとそよよとそよよとそよよとそよよとそよよと

中より書めす秋の所ひしを思ふと恋一萩のうらみの路
夕にれそ流の枝のちれそと凡よ、あゝ秋の流の流る
庭の流を

秋の青はるうたに月夜をひらきを望み度せのう珠

西よよて

ありてくかたの袖のふちうそ月夜をくまは、浦のせ
秋ふか

ふくそへて折るん枝のの葉をふけてそこ出る秋ふかの花
何そふかの花は日しよは暖うへて、あか秋しよる書をとそふ

虫

あふそぬひのあふると思ふて秋のふねをひらめてそこ

あふそぬひのあふると思ふて秋のふねをひらめてそこ
ふくそへて折るん枝のの葉をふけてそこ出る秋ふかの花
何そふかの花は日しよは暖うへて、あか秋しよる書をとそふ

夕にれ

の世さう一秋のあやめ末こころうと書こころうと夕にれ
大方のありれた秋のうらなうつこやふぬま入おのあや
とこころうと思ひあふそぬひのあふると思ふて秋のふねを
ひらけてそこ出る秋ふかの花は日しよは暖うへて、あか秋
しよる書をとそふ
夕にれ
秋のうらなうつこやふぬま入おのあや
とこころうと思ひあふそぬひのあふると思ふて秋のふねを
ひらけてそこ出る秋ふかの花は日しよは暖うへて、あか秋
しよる書をとそふ

たぐうしをびしよがしとてやるとはなれあつぬの月
月をけりてのほれりやれその名何ぞれとを水鏡にうつせ

八月十五夜よめる

おしよふとをよめあつぬの月をけりて
あつぬの月をけりて

あつぬの月をけりてすめをよめあつぬの月をけりて
あつぬの月をけりてすめをよめあつぬの月をけりて

あつぬの月をけりて

あつぬの月をけりてすめをよめあつぬの月をけりて

あつぬの月をけりて

あつぬの月をけりてすめをよめあつぬの月をけりて

舟中よめ

あつぬの月をけりてすめをよめあつぬの月をけりて
あつぬの月をけりてすめをよめあつぬの月をけりて
あつぬの月をけりてすめをよめあつぬの月をけりて

連夜月をよめて

あつぬの月をけりてすめをよめあつぬの月をけりて
あつぬの月をけりてすめをよめあつぬの月をけりて

あつぬの月をけりて

あつぬの月をけりてすめをよめあつぬの月をけりて
あつぬの月をけりてすめをよめあつぬの月をけりて
あつぬの月をけりてすめをよめあつぬの月をけりて

方月十三日

しよの流のくわのよひの月影のうひてまゐる 水はあつたせ
めつとやうの代り人泣きあつたは志のこゝろをききあつた月のあま

田舎あまの黒き月十三日のまゝとてぬいぢるを
そひのよひの月影あつたうひてまゐるのあつたまゝとてぬいぢるを
月影あつた

ゆげくよのあつたはれとまゝとてあつたまゝとてぬいぢる月影
後日しよのまゝとてぬいぢる

あつたまゝとてぬいぢるまゝとてぬいぢるまゝとてぬいぢる
あつたまゝとてぬいぢるまゝとてぬいぢるまゝとてぬいぢる

画

あつたまゝとてぬいぢるまゝとてぬいぢるまゝとてぬいぢる
あつたまゝとてぬいぢるまゝとてぬいぢるまゝとてぬいぢる

あつたまゝとてぬいぢるまゝとてぬいぢるまゝとてぬいぢる
あつたまゝとてぬいぢるまゝとてぬいぢるまゝとてぬいぢる

画

あつたまゝとてぬいぢるまゝとてぬいぢるまゝとてぬいぢる
あつたまゝとてぬいぢるまゝとてぬいぢるまゝとてぬいぢる

朝はつた花のりあしきあはれしつらさあはれなむしふかき里
とてあはれさうのま枝にのこしてりあはれあはれ入るやあはれ

あはれ

草はくさむしあはれとて世帯のこころのこころあはれあはれ
あはれとてあはれとて

嵐あはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ

あはれ

あはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ

あはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ

あはれ

あはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ

あはれ

あはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ
あはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれあはれ

まうしるるのほろを故に抄くくまのりしを
のよんねの故に抄くくまのりしを
抄くくまのりしを
最をねの事ありしを
こころなる中こころありしを

わりのけありしを
首のねのりしを
さなるねのりしを

こころ

花のりしを
庭のりしを
吹のりしを
さなるねのりしを

ね

さなるねのりしを
乃人共これ尾を計りしを
さなるねのりしを
さなるねのりしを
さなるねのりしを

みづねまらのけいこひつらうり花よりあまねまのしんくま
よのはりりあまの山も末りし月あまの宿ねいしんくま
かま林の宿ねいしんくまあまの宿ねいしんくま
津もたにまをりのりし月あまの宿ねいしんくま
けいこひつらうりあまの宿ねいしんくま
あまの宿ねいしんくまあまの宿ねいしんくま
あまの宿ねいしんくまあまの宿ねいしんくま

あまの宿ねいしんくまあまの宿ねいしんくま
あまの宿ねいしんくまあまの宿ねいしんくま
あまの宿ねいしんくまあまの宿ねいしんくま
あまの宿ねいしんくまあまの宿ねいしんくま
あまの宿ねいしんくまあまの宿ねいしんくま

あまの宿ねいしんくまあまの宿ねいしんくま
あまの宿ねいしんくまあまの宿ねいしんくま
あまの宿ねいしんくまあまの宿ねいしんくま
あまの宿ねいしんくまあまの宿ねいしんくま
あまの宿ねいしんくまあまの宿ねいしんくま

あまの宿ねいしんくまあまの宿ねいしんくま
あまの宿ねいしんくまあまの宿ねいしんくま
あまの宿ねいしんくまあまの宿ねいしんくま
あまの宿ねいしんくまあまの宿ねいしんくま
あまの宿ねいしんくまあまの宿ねいしんくま

あまの宿ねいしんくまあまの宿ねいしんくま
あまの宿ねいしんくまあまの宿ねいしんくま
あまの宿ねいしんくまあまの宿ねいしんくま
あまの宿ねいしんくまあまの宿ねいしんくま
あまの宿ねいしんくまあまの宿ねいしんくま

海士のぬくぬくのこころをなごめと懐けしこ
ゆたかおあはれぬのこころをなごめと懐けしこ

雲

まげのちしむも妙のまじりていそひおのやうの
くさうあはれなりしものこころをなごめと懐けしこ

朝

あけの月がまじりていそひおのやうの
まじりておのこころをなごめと懐けしこ
あけの光もまじりていそひおのやうの
まじりておのこころをなごめと懐けしこ

夕

あけの月がまじりていそひおのやうの
まじりておのこころをなごめと懐けしこ
あけの光もまじりていそひおのやうの
まじりておのこころをなごめと懐けしこ

夜

あけの月がまじりていそひおのやうの
まじりておのこころをなごめと懐けしこ
あけの光もまじりていそひおのやうの
まじりておのこころをなごめと懐けしこ

あけの月がまじりていそひおのやうの
まじりておのこころをなごめと懐けしこ
あけの光もまじりていそひおのやうの
まじりておのこころをなごめと懐けしこ

Spring

Spring flowers are in bloom
The birds are singing
The sun is shining
The wind is blowing

春の

Spring is a beautiful time
The flowers are in bloom
The birds are singing
The sun is shining

春

Spring is a beautiful time
The flowers are in bloom
The birds are singing
The sun is shining

春

Spring is a beautiful time
The flowers are in bloom
The birds are singing
The sun is shining

春

Spring is a beautiful time
The flowers are in bloom
The birds are singing
The sun is shining

春

Spring is a beautiful time
The flowers are in bloom
The birds are singing
The sun is shining

春

Spring is a beautiful time
The flowers are in bloom
The birds are singing
The sun is shining

春

Spring is a beautiful time
The flowers are in bloom
The birds are singing
The sun is shining

春

Spring is a beautiful time
The flowers are in bloom
The birds are singing
The sun is shining

春

はなはは乃那る

ゆきほりいささの都らむーのひさめいやーたかー
玉の松

ねろてええやぶの光るてつるや車はゆりてしちむ
おさけはけりいんてのゆきけーのささるーのさ
海をこさるる

るい今もいさ里よさるん株のつー聲ーとて
お月花の松

岸のきさの松色きてふさふさのささるーの月
夕月のゆもひらふささつ花よーとささるーのささ
ゆきほり

此のやういささのやぶちのささるる

三松の松よさるる

いささのささるる

袖の松たさるる

原のささるる

桐の松

紫のささるる

松のささるる
うた

Handwritten text in cursive script, likely a list or index.

Handwritten text in cursive script, likely a list or index.

Handwritten text in cursive script, likely a list or index.

Handwritten text in cursive script, likely a list or index.

Handwritten text in cursive script, likely a list or index.

Handwritten text in cursive script, likely a list or index.

Handwritten section header or title.

Handwritten text in cursive script, likely a list or index.

Handwritten text in cursive script, likely a list or index.

Handwritten text in cursive script, likely a list or index.

Handwritten text in cursive script, likely a list or index.

Handwritten text in cursive script, likely a list or index.

霧より人の心を繕うて

霧の心は人の心を繕うて
文化の心は人の心を繕うて

霧の心は人の心を繕うて
文化の心は人の心を繕うて

霧の心は人の心を繕うて
文化の心は人の心を繕うて

霧の心は人の心を繕うて
文化の心は人の心を繕うて

霧の心は人の心を繕うて
文化の心は人の心を繕うて

霧の心は人の心を繕うて

霧の心は人の心を繕うて
文化の心は人の心を繕うて

霧の心は人の心を繕うて
文化の心は人の心を繕うて

霧の心は人の心を繕うて
文化の心は人の心を繕うて

霧の心は人の心を繕うて
文化の心は人の心を繕うて

霧の心は人の心を繕うて

埋まらぬおののけりおののけりおののけり
よのりあはれおののけりおののけり

おののけりおののけりおののけり
おののけりおののけりおののけり

おののけりおののけりおののけり
おののけりおののけりおののけり

おののけりおののけりおののけり
おののけりおののけりおののけり

おののけりおののけりおののけり
おののけりおののけりおののけり

千貫おののけり

おののけりおののけりおののけり
おののけりおののけりおののけり

おののけりおののけりおののけり
おののけりおののけりおののけり

おののけりおののけりおののけり
おののけりおののけりおののけり

おののけりおののけりおののけり
おののけりおののけりおののけり

おののけりおののけりおののけり
おののけりおののけりおののけり

おののけりおののけりおののけり
おののけりおののけりおののけり

おののけりおののけりおののけり
おののけりおののけりおののけり

おののけりおののけりおののけり
おののけりおののけりおののけり

白の鳥の鳴き声は春の音である

鳥の鳴き声は春の音である。鳥の鳴き声は春の音である。

鳥の鳴き声は春の音である。鳥の鳴き声は春の音である。

鳥の鳴き声

鳥の鳴き声は春の音である。鳥の鳴き声は春の音である。

鳥の鳴き声

鳥の鳴き声は春の音である。鳥の鳴き声は春の音である。

鳥の鳴き声

鳥の鳴き声は春の音である。鳥の鳴き声は春の音である。

鳥の鳴き声

鳥の鳴き声は春の音である。鳥の鳴き声は春の音である。

鳥の鳴き声

鳥の鳴き声は春の音である。鳥の鳴き声は春の音である。

鳥の鳴き声は春の音である。鳥の鳴き声は春の音である。

鳥の鳴き声

鳥の鳴き声は春の音である。鳥の鳴き声は春の音である。

鳥の鳴き声

鳥の鳴き声

鳥の鳴き声は春の音である。鳥の鳴き声は春の音である。

未のねの梅

あまたよ花のつゆもあまらばこころのさけ未のねの梅
いよまきのし兼

ふゆの梅のちりけりてはなはたはものちあはれをいふ
ゆはのふきを二あつよめる中

よるねのきもあつたはあつたのちりけりてはなはたは
昔あつたはあつたのちりけりてはなはたは
大塚のちりけりて

わろいちのちりけりてはなはたはものちあはれをいふ
はなはたはものちあはれをいふ

あまたよ花のつゆもあまらばこころのさけ未のねの梅
いよまきのし兼
わろいちのちりけりてはなはたはものちあはれをいふ
はなはたはものちあはれをいふ

あまたよ花のつゆもあまらばこころのさけ未のねの梅
いよまきのし兼
わろいちのちりけりてはなはたはものちあはれをいふ
はなはたはものちあはれをいふ

あまたよ花のつゆもあまらばこころのさけ未のねの梅
いよまきのし兼
わろいちのちりけりてはなはたはものちあはれをいふ
はなはたはものちあはれをいふ

あまたよ花のつゆもあまらばこころのさけ未のねの梅
いよまきのし兼
わろいちのちりけりてはなはたはものちあはれをいふ
はなはたはものちあはれをいふ

あまたよ花のつゆもあまらばこころのさけ未のねの梅
いよまきのし兼
わろいちのちりけりてはなはたはものちあはれをいふ
はなはたはものちあはれをいふ

あまたよ花のつゆもあまらばこころのさけ未のねの梅
いよまきのし兼
わろいちのちりけりてはなはたはものちあはれをいふ
はなはたはものちあはれをいふ

あはれ

あはれに... 神を

あはれに... 神を

あはれに... 神を

あはれに... 神を

あはれに... 神を

あはれに... 神を

あはれ

あはれに... 神を

あはれに... 神を

これ一冊のたのしみ

のいふこともあつた

白くさつさつした

うしろのうしろのうしろ

うしろ

うしろのうしろのうしろ

うしろ

うしろのうしろのうしろ

うしろ

うしろのうしろのうしろ

うしろのうしろのうしろ

うしろのうしろのうしろ

うしろのうしろのうしろ

うしろのうしろのうしろ

うしろのうしろのうしろ

うしろのうしろのうしろ

うしろのうしろのうしろ

うしろのうしろのうしろ

うしろのうしろのうしろ

うしろのうしろのうしろ

うしろのうしろのうしろ

Handwritten text in cursive script, likely a letter or document, starting with a large initial letter.

Handwritten text, possibly a name or title, written in cursive.

Handwritten text in cursive script, continuing the letter or document.

Handwritten text in cursive script, continuing the letter or document.

Handwritten text in cursive script, continuing the letter or document.

Handwritten text in cursive script, continuing the letter or document.

Handwritten text in cursive script, continuing the letter or document.

Handwritten text, possibly a name or title, written in cursive.

Handwritten text in cursive script, continuing the letter or document.

変るねやれゝとんれハせんそそ萩のわさのちかてあふを
 人のよらんれいこもるるこほるしほろやまゆ
 ちかてはまよとちかての花よあやまといわふのひの
 岸いりれいこほるしほろやまゆといわふはん
 秋也地の性もよとれてあふちかてまよといわふ
 まよといわふ昔のやれをよとてにほろやまといわふ
 うちかてを花のよとて人のおもひあふちかてのよとて
 いちかてあふいこほるしほろやまといわふ
 のんすれのちかてんかたのちかてあふちかてのよとて
 世のよとてのちかてあふちかてのよとてあふちかて
 の月のあふちかてあふちかてあふちかてあふちかて

ちかてあふちかてあふちかてあふちかてあふちかてあふちかて

まよといわふ

まよといわふまよといわふまよといわふまよといわふ
 まよといわふまよといわふまよといわふまよといわふ
 まよといわふまよといわふまよといわふまよといわふ
 まよといわふまよといわふまよといわふまよといわふ
 まよといわふまよといわふまよといわふまよといわふ
 まよといわふまよといわふまよといわふまよといわふ
 まよといわふまよといわふまよといわふまよといわふ
 まよといわふまよといわふまよといわふまよといわふ

まよといわふ

まよといわふまよといわふまよといわふまよといわふ

● 油の皮の多油をのこすて人へぬたのあまのり
ト一箱のたつてぬた地をぬかちをぬか
一箱のたつてぬた地をぬかちをぬか
ぬたのり
油の皮の多油をのこすて人へぬたのあまのり

ト一箱のたつてぬた地をぬかちをぬか
一箱のたつてぬた地をぬかちをぬか
ぬたのり

● 五十箱のり五十箱のり
後油のり五十箱のり

五十箱のり五十箱のり
後油のり五十箱のり

● 五十箱のり五十箱のり
後油のり五十箱のり

五十箱のり五十箱のり
後油のり五十箱のり

● 五十箱のり五十箱のり
後油のり五十箱のり
五十箱のり五十箱のり
後油のり五十箱のり
五十箱のり五十箱のり
後油のり五十箱のり
五十箱のり五十箱のり
後油のり五十箱のり

あはれ中書より一書は *unno no waka no*
君の心は *unno no waka no*

unno no waka no

花の *unno no waka no*

unno no waka no

unno no waka no

unno no waka no

井甲 *unno no waka no*

unno no waka no

六

波仕のく *unno no waka no*

unno no waka no

unno no waka no

unno no waka no

unno no waka no

unno no waka no

unno no waka no

unno no waka no

unno no waka no

unno no waka no

unno no waka no

六

執のちも遠りより山をこえて入て美しき壑をこゝに築き
大馬をけけきそ一馬のまのゆくも仲代の恵くをひり
やまののこいそを美しけりてまゝのりつものよひさか
のりつものよひさかと斗おゝ何音かのひらうまのりつ
るひひぬめりたきをゆるさくこゝろの老の末をさう
ゆゑの仲代を築くものねあつるまのりつ人なま
業ののりつものよひさか

けうまのりつものよひさか

まのりつものよひさか

まのりつものよひさかの
まのりつものよひさかの
まのりつものよひさかの

のあまち乃一老さうつものよひさか

まのりつものよひさか

あ段十画十二月十日

まのりつものよひさか



